

現場の創意工夫について

工 事 名 令和5・6年度
高田管内道路情報表示設備更新工事
工 事 場 所 新潟県糸魚川市寺島地先他 全3箇所
会 社 名 株式会社八重電業社
発 表 者 笠原 章裕

1. はじめに

本工事は、高田河川国道事務所管内に設置されている情報表示設備の更新工事です。作業場所が点在しており作業環境も異なるため、場所ごとに違った安全対策を行いました。

2. 概要

現場ごとに山や藪、海が近くにあるなど異なった環境のため、別々に安全対策をとる必要がありました。また、気温が高い中での作業が予想されたため、熱中症対策もする必要がありました。それぞれの対策として下記の取り組みを行いました。

3. 方法

(1)害獣、害虫の安全対策

山の近くの現場では熊などの害獣が出る恐れがあるため、熊撃退スプレーやラジオで音を鳴らし寄せ付けないなどの対策を行いました。害虫の対策では、藪の中などに入らないことを周知し、殺虫スプレーとポイズンリムーバーを携帯しました。



熊撃退スプレー



ラジオ



蜂スプレー



ポイズンリムーバー

(2)風による作業車の転倒対策

作業前と作業中に風速計を使い、クレーン車や高所作業車が作業できるかを確認しました。特に海沿いでは、風が強い日もあるのでこまめに確認し、車の転倒災害防止に役立てました。



(3)熱中症予防対策

今回、気温が高くなる事が予想されたので、熱中症対策を行いました。スポーツドリンクや塩タブレット、熱中症対策キットを現場に用意し、いつでも水分、塩分を補給できる環境を整えました。

また、WBGT計を現場に設置してリアルタイムでのWBGT値を確認することで、熱中症防止対策に役立てました。



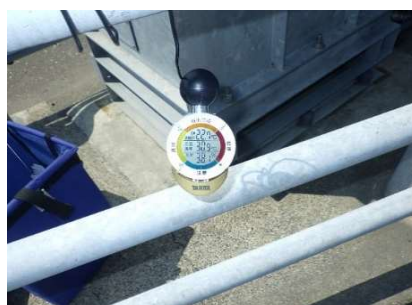
スポーツドリンク



塩タブレット



熱中症対策キット



WBGT計

4. まとめ

作業員が個人で持参した水分では足りず、スポーツドリンクを渡すという場面がありました。もしその場にドリンクがなければ、脱水状態から熱中症にまでなっていたかもしれません。今回は、ケガや事故等が起こることなく工事を完了することは出来ましたが、何か問題が起こった時に対処できるように今後も様々な対策を考え、実施していきたいと思います。